

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年2月7日(金)
クラス名(年齢)	ぱんだ組(3歳児)
年間テーマ	光

1.活動テーマ

〈テーマ〉

素材による光の違い

〈テーマの設定理由〉

以前、子ども達と一緒にカラーセロファンを貼った色眼鏡を作り、戸外活動時に太陽光を通して地面に映し出して遊んだ。その時、光や色に興味をもつ姿が見られたことから、光をテーマにした。

2.活動スケジュール

10名参加。

好きな素材を選び、絵を描いたり色を塗ったりする。

描いた紙を段ボールの壁の好きな所に貼る、描いた紙にライトを当てる。

3.環境をデザインする

クレヨンと蛍光ペン、懐中電灯とブラックライト

子どもが好きな素材を自由に選べるようにする。

4.探求活動の実践

〈活動内容〉

最初は保育者が用意した塗り絵に蛍光ペンで色を塗る。塗り終えた後に好きな場所に紙を貼る。他児の様子を見ながら、紙を貼る場所を変える姿もあった。

一人一人ブラックライトを使用し、自分の塗った絵がどのように光るかを試す。ブラックライトと懐中電灯を持ち替えて光り方を確かめる様子があった。また、友達とブラックライトの光を重ね合わせたり、ちらちらと光を揺らしてみたりしていた。

塗り絵の後は、保育者が画用紙に絵を描き、自由な絵を描くことに誘う。「ハサミで(まわりを)切りたい」と言い、魚の塗り絵の周りを切りたがる子どもがいる。その絵を保育者が天井に貼っていくと、「水族館が始まったー」と喜ぶ。水族館にしたいという子どもの声から、次回はどのような魚を作りたいか聞いていった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が実際に蛍光ペンとクレヨンで塗り絵をする。 ・保育者がブラックライトを当てて見せる。 <p>子ども「えっ！光ったー！」 保育者「何で光ってるのかな？」 子ども「魔法だからかな？」「光るクレヨンだからだよ」 「あ、ハサミも光ってる」「上も光ってる！さっき白だったのに」 「〇〇ちゃんの手は光らない」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で塗り絵をし、子ども自身がブラックライトで照らす。 <p>子ども「光った…」「(光る部分を見て)特別な隠し味だ！」「魔法のクレヨンだから光るんだよ」 ・保育者が懐中電灯もあることを伝え、光り方の違いはあるか問いかける。</p> <p>子ども「光らなかった…」「(ブラックライトを使い)すごい光ってるじゃん！こっちの方が」 ・ブラックライトの光を2人で協力して重ね合わせる。</p> <p>保育者「光合わせて何か変化はあった？」 子ども「きれいになった！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に画用紙に絵を描き、ブラックライトで照らす。 <p>子ども「他のやつも光らせてみよう」「ほかにもやってみよう」 「しっぽまで虹色だよ！」「(魚の中心にライトを照らし)ここは心臓」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者が、天井に絵を貼ることを提案する。 <p>子ども「上にこれ貼る！」「すごい光るなあ！」「水族館が始まったー！」「光る魚がいっぱいいるー！」 ・子どもと今日の活動を振り返る</p> <p>保育者「何色が一番光った？」 子ども「黄色、オレンジ」「緑は光らなかった」 保育者「他に何貼りたい？」 子ども「ジンベイザメ」「おさかなのお家」「水族館かな」</p>	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

懐中電灯とブラックライトで光る色の違いや、光を重ね合わせた時の違い、魔法のクレヨンで描いたもの以外にも光る物があるなど、光の違いに気付く声が多く聞こえてきた。予想していたよりも、子ども達の集中が続く、様々な遊び方を試していた。今回の活動を通して子ども達の中で水族館のイメージが浮かんできているので、次は水を用意し(様々なサイズのペットボトルに水を入れる)、光遊びを広げていきたい。子ども達のリクエストで魚を用意している時、「にじいろのさかな、またやりたい(色塗り)、水槽作りたいな〜」と声があったので、段ボール・カラーセロファン・色画用紙などで水槽を作り用意していく。光を当てた時の色の違いや、色の変化に興味に向いていた様子だった。声掛けや遊び方を工夫しイメージを膨らませていきたい。